



BLUE SKY

～自ら学び 心豊かな子どもに～

第8号

令和 7 年10月30日 (木)
コタキナバル日本人会附属
コタキナバル日本人学校
TEL 088-422297



文責：校長 渡會 寛之

Finding Nemo in KJS



設置されたばかりの水槽の前で（水はまだ濁っている）



次の日にはこんなにきれいに

1 学期に行った「KJS海の日」に本校で講話等して下さった、FISH TANK BAHの皆さんが、この度本校にニモを6匹とその飼育に必要な機材等を寄贈してくださいました。

今までは理科室の中に数匹のめだかがいるだけでしたが、今回の寄贈のおかげで、理科室だけでなく調理室前のホールにも水槽を設置することができ、子どもたちも毎日お魚を観察したり餌をあげたりして触れ合うことができています。

生き物を飼うことによって育まれる情操的な資質は社会生活を送る上でもとても大切なものであると考えています。私も小学生の時飼育委員会の委員長としてウサギ小屋の管理を任されたことがあります、その時の生き物と触れ合った記憶は今でも鮮明に脳裏に焼き付いています。あるいは

4 年生の時に、クラスで飼っていた十姉妹（じゅうしまつ）という小鳥がかごから逃げ出したときに、何も知らず教室に走り込んでいった私が、帽子によって捕獲されたその鳥を踏み殺してしまったことも忘れられない思い出です。

ところでこのお魚、なんでもちゃんと飼えば30年生きることでした。それを聞いて私は、このお魚たちと長生き競争をすることに決めました。もう30年たてば私は88歳の米寿を迎えることとなります。その時にまたこの学校を訪れて、互いの健康を称えあえたらとても嬉しいです。（それにはまずこの学校が存続していることが先決ですが）

ともかく、先日学校運営委員の方々にみてもらった際にも、「こういうのがあると学校らしくていいね。」というお言葉も頂戴しました。みんなの宝物として大切に飼っていききたいものです。

学習発表会近づく

10月29日（水）学習発表会のリハーサル等が行われました。まだ未完成な部分も多かったのですが、その分子どもたちは自分たちの改善点を真剣に考えて、残りの準備期間を有意義に過ごそうと誓っているようでした。保護者の皆様には発表で使う道具や衣装を提供して下さるなど、大変お世話になっております。本番当日には、皆様にご恩返しできるよう児童・生徒、職員力を合わせてKJSらしい学習発表会を作り上げていきたいと思っておりますので、ふるってご参加くださいますようお願いいたします。



オンライン授業について

先日行われました学校運営委員会の席上、オンライン授業と出欠についてのご質問がありました。

皆様すでにご存じのようにコロナ発生以降、数年前より、文部科学省の指示・指導により、オンライン授業の導入が進められ、例えば感染症の予防のためオンラインで授業を受けた場合も、出席扱いとするということが定められております。さらに、指導要録にはオンラインで授業を受けた日数等記録する欄も設けられております。本校も日本の学校同様の措置をとっておりますので、改めてご存じおきいただけたらと思います。



FTBの皆様ありがとうございました！